

1 活動名

生活単元学習／家庭の暮らし「適切な情報機器の使い方」：オンライン形式での学習

2 対象

- ・高等部1年生C課程

3 内容と取組の様子

[内容]

- ・生活単元学習でオンラインによる授業について学習しました。教室と生徒11人を Google Classroom を活用して、Meet でつなぎチャットやフォーム等のアプリを利用しながら、iPad の使い方を学習しました。学習内容として、iPad やスマートフォン等の適切な使い方とマナー、使用する際のルールの確認を行いました。

[目的]

- ・生徒一人でもオンライン学習に参加できるよう iPad と各アプリの適切な操作方法を身に付ける。
- ・スマートフォン等の情報機器の適切な使い方を学び、安全・安心に使う方法を学ぶ。

[生徒の様子]

- ・ほとんどの生徒がスマートフォンやタブレット、パソコン等を利用していることから、活動には積極的に取り組んでいました。タブレット上で先生や友達の様子を確認したり、音声やチャットで意見を交換したりすることで、互いの関わり合いを楽しみながら充実した学習になりました。
- ・授業ごとに Google フォームによるまとめのテストを実施し、結果をスコアで確認しことで、最後まで意欲的に取り組むことができました。



4 使用したツール(システム・アプリ・ソフト・教材等)

- ・ iPad ・ Google Classroom ・ Meet ・ チャット ・ フォーム ・ スライド
- ・ ドキュメント ・ ドライブ PowerPoint

5 おすすめポイント

- ・使用する iPad を利用生徒毎に固定し Classroom にログインしておきすぐに使用できるようにした。
- ・オンライン授業を実施することを想定して、いろいろなアプリを繰り返し使用することで、教師も生徒も遠隔での利用をイメージしながらの操作に慣れてきた。
- ・授業のまとめにフォームでのテストと結果をスコアで確認できるようにすることで、学習の定着に効果があった。

6 さらに工夫したいこと

- ・他の教科の授業においても、オンライン授業を想定した学習を実施する。
- ・一度に20台程度は Meet を使用したオンライン授業がスムーズにアクセスができて行えるが、校内で一度に安定して使用できる台数が限られるため、校内で利用時間を調整する方法を工夫したい。
- ・Meet を利用した対面授業以外に、情報データ使用量の少ない課題スライド等を個別に配布し、それを生徒が一人で見ながら個別学習に取り組むようにすることで、生徒個々の特性とオンライン授業実施上の課題を探りたい。
- ・教科ごとの授業配布用スライド教材の作成とその集積を図りたい。